

事務事業評価シート
(根室市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画事業)

主管課名(担当名)	上下水道総務課(上下水道総務担当)	事業年度	R5
事務事業名	水道会計支出金	事業番号	—

1 施策体系(市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画)

施策体系との関連	施策区分・目的	I 市民生活に関わる支援 ③消費下支え等を通じた「市民生活」支援
	施策区分・目的	II 事業活動に関わる支援 ④「農林水産業、中小企業、医療・福祉施設」等に対する物価高騰対策支援

2 事務事業の概要と目的

対 象 (交付対象者や対象施設など)	官公庁を除く市内の水道利用者		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	コロナ禍の中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が収まる兆しが見えず、市民生活はもとより市中経済にも大きな影響が及んでおり、市民等の負担を軽減するため「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援対策」として官公庁を除く水道利用者の水道料金の基本料金を令和5年4分から令和5年12月検針分まで免除する。		
意 図 (取組みに当たって期待される成果など)	電力・ガス・食料品等が高騰に対し、市内ほぼすべての世帯等が利用する水道料金の基本料金を免除することで、間接的な負担軽減を図ることができる。		
実施方法	☒ 直営（市が直接実施） ☐ 補助（民間等に補助） ☐ 委託（民間等に委託） ☐ その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説 明
	233,504千円	230,364千円	○水道料金基本料金免除分 予算 230,446千円、決算 229,273千円
	内 国道支出金		○事務費（郵便料・広報・システム改修） 予算 3,058千円、決算 1,091千円
	内 其他特定財源		
内 一般財源	233,504千円	230,364千円	○財源：一般財源

3 事務事業の効果検証・評価等

ア. 活動指標	指 標 名	目標値	実績値
	水道料金基本料金免除延べ件数	105,000件	105,336件
イ. 検証手段・方法	☐ アンケート調査 ☒ 実地調査 ☐ 検証予定 ☐ その他（ ） 免除期間の調定時点の状況を確認し件数を集計する。		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか(結びつくか)、経済への波及効果など)	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 水道利用者からは、「基本料金の免除は大変ありがたい。」などと感謝の声が寄せられた。		
エ. 課題 (取組みにあたり課題・問題点、原因の分析など)	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 世帯当たりの利用人数の大小に依らず一定である基本料金部分のみの減免であるため、1世帯当たりの人数が多い子育て世帯などにおいては、単身世帯と比較して、1人当たりの料金軽減額が低くなってしまう。このことから、世帯当たりで考えた場合には、公平な政策であり目的を達成しているが、1人当たりで考えた場合には、公平性の面で課題が残る政策といえる。		

4 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 ☒ 完了(令和5年12月) 令和5年12月検針分の基本料金免除をもって本事業を終了した。
--------	--

作成年月日

令和6年6月

事務事業評価シート
(根室市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画事業)

主管課名(担当名)	上下水道総務課(上下水道総務担当)	事業年度	R5
事務事業名	農業用水会計繰出金	事業番号	—

1 施策体系(市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画)

施策体系との関連	施策区分	Ⅱ 事業活動に関わる支援
	施策目的	④「農林水産業、中小企業、医療・福祉施設」等に対する物価高騰対策支援

2 事務事業の概要と目的

対 象 (交付対象者や対象施設など)	市内の農業用水利用者		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	コロナ禍の中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が収まる兆しが見えず、市民生活はもとより市中経済にも大きな影響が及んでおり、市民等の負担を軽減するため「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援対策」として農業用水利用者の農業用水使用料の基本料金を令和5年4分から令和5年12月検針分まで免除する。		
意 図 (取組みに当たって期待される成果など)	原油価格・電力・ガス・食料品等が高騰に対し、市内ほぼすべての世帯等が利用する水道料金の基本料金を免除することで、間接的な負担軽減を図ることができる。		
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説 明
	3,264千円	2,983千円	○農業用水使用料基本料金免除分 予算 3,264千円, 決算 2,983千円
	内 国道支出金		○財源: 一般財源
	内 其他特定財源		
内 一般財源	3,264千円	2,983千円	

3 事務事業の効果検証・評価等

ア. 活動指標	指 標 名	目標値	実績値
	農業用水使用料基本料金免除延べ件数	873件	785件
イ. 検証手段・方法	□アンケート調査 ■実地調査 □検証予定 □その他()		
	免除期間の調定状況を確認し件数を集計する。		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか(結びつくか)、経済への波及効果など)	■結びついている □一部結びついている □結びついていない		
	水道利用者からは、「基本料金の免除は大変ありがたい。」などと感謝の声が寄せられた。		
エ. 課題 (取組みにあたり課題・問題点、原因の分析など)	□ある □一部ある ■ない		
	—		

4 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	□現状のまま継続 □見直しのうえで継続 ■完了(令和5年12月)
	令和5年12月検針分の基本料金免除をもって本事業を終了した。

作成年月日

令和6年6月